

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく

令和7年2月28日

さわやか相談室 TEL 048-865-7573

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 TEL 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

心の在り様

校長 高山 俊介



今年は昨年に比べ、厳しい寒さの日が多いようです。それでも2月に近づくとつれ各地で梅の開花（春告草）が報告され、春の足音が聞こえています。そして、本校の校章のデザインにあしらわれている櫟（の葉）は、冬は一枚も葉をつけていませんが、4月になると細かい芽が出はじめ、週ごとに葉は大きくなって5月になるとしなやかな若葉で枝がたわむ程になり、6月ころには立派な緑色の葉になるでしょう。生徒たちも、まとめと準備の3学期に3年は受験(検)を乗り越え、2年生は大寒波の中の自然の教室、1年生は上野・浅草の校外学習をやり遂げるなどして、4月からの新しい年度・環境におけ、力を蓄えています。特に、入学時と比べると、しっかりとした体つきと凛々しい顔つきとなった3年生は、卒業を間近に控えるとともに、新しいステージに進み、大きく環境が変わります。

そのような生徒の皆さんに新聞のコラムなどに掲載された「天国と地獄」のたとえ話を読んでほしいと思います。

ある人が地獄に行って見るとちょうど食事時で、驚いたことに地獄とはいえテーブルには、中華料理のように井や鉢が並び、どれにも山海の珍味が山のように盛られておりました。素晴らしい御馳走です。それなのに、どういうわけか長い箸を持たされ、それぞれがその箸を使って懸命に食物を自分の口に運ぼうとするのですが、箸が長過ぎてそれが出来ないで、みんな骨と皮ばかりに痩せこけ、目はくぼみ真っ青な顔をしていました。

次に天国へ行って見ると、そこでも同じような素晴らしい御馳走を長い箸で食事をしていました。ところが、食物を自分の口に運ぼうとせず、互いに向かい合って座り、互いに相手の口に運び入れながら、楽しそうに食事をし、血色もよく、健康そのものといった感じでした。

このたとえ話から、同じような環境でも心の在り様によって、幸福感が大きく変わってくるのが分かります。生徒の皆さんには、蓄えた力を糧に新しい年度・環境でエージェンシー※を発揮し、自分らしく目標に取り組むと同時に周囲のみんなをリスペクトしてくれる事を期待しています。※獲得した知識を活用し、多くの他者と協働して、自分の考えや行動により、

自身の生活や世の中を少しでも変えようと行動する力

保護者・地域の皆様には、この一年間、生徒をあたたく見守るとともに支えてくださいましたこと、心から感謝申し上げます。来年度も引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。